



令和3年10月20日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel : 03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START） 新規プロジェクトの決定について（2021年度審査分）

JST（理事長 濱口 道成）は、大学発新産業創出プログラム（START）「プロジェクト支援型」における2021年度審査分の新規プロジェクト5件を決定しました（別紙）。

本プログラムは、ベンチャーキャピタルなどの事業化ノウハウを持った人材を「事業プロモーター（参考1）」として活用し、研究者と共に事業戦略、知財戦略を構築しつつ市場や出口を見据えた研究開発と事業育成を一体的に推進し、企業価値の高いベンチャー企業の設立を目指します（参考2）。

本プログラムでは、まず大学などの研究者から技術シーズの応募を受け付けます。事業プロモーターは申請された技術シーズの中から事業化の可能性があると判断されるものを選び、研究者と共にビジネスモデルを検討します。その後、研究者と事業プロモーターから提案される技術シーズやビジネスモデルなどに対して、外部専門家で構成される委員会にて審査し、その結果を基に新規プロジェクトを決定します。

本年度は2021年3月5日（金）から4月26日（月）まで技術シーズを募集したところ51件の応募があり、5件の新規プロジェクトを決定しました。

今後、契約などの条件が整い次第、研究開発を開始する予定です。

### <添付資料>

別紙：研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）「プロジェクト支援型」採択プロジェクト一覧（2021年度審査分）

参考1：2021年度に新規技術シーズの選択を実施する事業プロモーターユニット一覧

参考2：大学発新産業創出プログラム（START）について

### <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 産学連携展開部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

森田 浩（モリタ ヒロシ）

Tel : 03-5214-7054 Fax : 03-3238-5373

E-mail : [start\[at\]jst.go.jp](mailto:start[at]jst.go.jp)

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）  
「プロジェクト支援型」  
採択プロジェクト一覧（2021年度審査分）

（事業プロモーターユニット代表実施機関の五十音順）

プロジェクト名	研究代表者	事業プロモーター ユニット 代表実施機関	プロジェクト概要
宇宙産業で安全に使用できる静電気検知技術の開発	大阪府立大学 大学院工学研究科 准教授 高橋和	ANRI株式会社	小型・省エネルギーのシリコンラマンレーザーによる、光を用いた安全性が高い静電気検知技術を実用化する。静電気による事故・機器故障が重要な課題である宇宙分野を手始めに静電気検知装置を製造・販売するベンチャーの設立を目指す。
印刷型有機ELパネルの事業化	山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター 教授 硯里善幸	QBキャピタル合同会社	印刷型有機ELのインク・プロセス開発と初期製品の開発を行う。IoT化などによる多品種へのニーズに対し、少量多品種生産が可能な印刷型小型有機ELパネルの製造販売を展開するベンチャーの設立を目指す。
新規RNAウイルスベクターを用いた遺伝子治療薬の開発	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 教授 朝長啓造	ジャフコグループ株式会社	新規RNAウイルスベクターを用いて、遺伝子導入した幹細胞を患者に移植する遺伝子細胞治療の新しいプラットフォーム技術を開発する。遺伝子発現の効率・持続性が高く、がん化などのリスクの低い、遺伝子細胞治療のスタンダードを提供するベンチャーの設立を目指す。
血流感染症特異的治療薬の開発に向けた大規模スクリーニングと <i>in vivo</i> EF阻害剤ライブラリーの構築	北海道大学 大学院獣医学研究院 准教授 佐藤豊孝	株式会社日本医療機器開発機構	感染部位特異的に細菌の生存・発育必須因子を阻害し、抗菌活性を持つ物質を探索する独自のスクリーニング技術を実用化する。多剤耐性菌を含む細菌感染症克服に貢献する創薬プラットフォームの事業化を目指す。

プロジェクト名	研究代表者	事業プロモーター ユニット 代表実施機関	プロジェクト概要
<p>個体表現型スクリーニングに立脚した新規治療薬探索基盤の確立</p>	<p>北海道大学 遺伝子病制御 研究所 教授 園下 将 大</p>	<p>日本戦略投資株式会社 (共同実施機関： ティーエスアイ株式会社)</p>	<p>がんをはじめとする疾患のモデルハエを作出・解析して治療薬候補を同定する技術を実用化する。製薬企業などへの創薬支援サービスや自社開発した治療薬候補のライセンスを行うベンチャーの設立を目指す。</p>

2021年度に新規技術シーズの選択を実施する  
事業プロモーターユニット一覧

(代表実施機関 開始年度ごとに五十音順)

代表実施機関 (共同実施機関)	代表事業 プロモーター	開始年度	出資母体 種別
ウエルインベストメント株式会社	代表取締役社長 瀧口 匡	2017	独立系
ジャフコ グループ株式会社	取締役パートナー 三好 啓介	2017	独立系
株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ	代表取締役社長・マネー ジングパートナー 郷治 友孝	2017	独立系
バイオ・サイト・キャピタル株式会社	代表取締役 谷 正之	2017	独立系
株式会社F F Gベンチャービジネスパートナーズ	取締役副社長 山口 泰久	2018	銀行系
ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社	代表取締役パートナー 木場 祥介	2018	独立系
Med Venture Partners 株式会社	代表取締役社長 大下 創	2019	独立系
日本戦略投資株式会社 (ティーエスアイ株式会社)	取締役 上原 健一	2019	独立系
Beyond Next Ventures 株式会社	代表取締役社長 伊藤 毅	2020	独立系
株式会社デフタ・キャピタル	取締役 丹治 幹雄	2020	独立系
株式会社日本医療機器開発機構	代表取締役 内田 毅彦	2020	独立系
ANRI 株式会社	代表取締役 佐俣 アンリ	2021	独立系
QBキャピタル合同会社	代表パートナー 坂本 剛	2021	独立系
インキュベイトファンド株式会社	代表取締役 本間 真彦	2021	独立系
株式会社みらい創造機構	代表取締役社長 岡田 祐之	2021	独立系

## 大学発新産業創出プログラム（START）について

### 1. STARTの概要・目的

大学発新産業創出プログラム（START: Program for Creating **ST**art-ups from **A**dvanced **R**esearch and **T**echnology）は、日本の大学等<sup>注1)</sup>の基礎研究成果に関し、大学等発ベンチャーなどを通じた新規マーケットへの事業展開が十分に行われていない当時の現状を踏まえて、2012年度に文部科学省により大学発新産業創出拠点プロジェクトとして創設され、2015年度よりJSTに移管された制度です。本制度では、事業化ノウハウを持ちベンチャービジネスに詳しい人材（事業プロモーター）を活用して、研究開発リスクや事業化リスクは高いもののポテンシャルが高い大学等の技術シーズを基に、研究者と共に研究開発・事業育成を行い、企業価値が高い大学等発ベンチャーの創出を支援します。

大学等発ベンチャーの起業前段階から公的資金による事業化のための研究開発と民間の事業化ノウハウを組み合わせることにより、大学等の技術シーズの事業化を通じて新産業の創出、新規マーケットの開拓を目指します。

### 2. STARTの構成

STARTは「事業プロモーター支援型」と「プロジェクト支援型」の2つの事業タイプによって構成されています。各事業タイプの概要は以下の通りです。

#### ア) 事業プロモーター支援型

大学等の技術シーズの事業化について、研究開発・事業育成を一体的に推進するため、事業化ノウハウを持った人材を事業プロモーターとして選定し、事業プロモーターが行う技術シーズの発掘やハンズオン支援<sup>注2)</sup>などの活動を支援します。

#### イ) プロジェクト支援型

事業プロモーターのプロジェクトマネジメントの下、市場や出口を見据えて事業化を目指す大学等の研究開発プロジェクトを支援します。

注1) 大学等：STARTの支援対象で、ここでは国公立大学、国公立高等専門学校、大学共同利用機関法人、独立行政法人（国立研究開発法人を含む）、地方独立行政法人などです。

注2) ハンズオン支援：事業を実施する上で必要なあらゆる課題について、各種アドバイス、コンサルティングを行うとともに、起業家・技術者のリクルーティング、関係先への働きかけなど、きめ細かなサポートを積極的に実施し、付加価値を高めることを目指した支援を意味します。

